



有限会社 田島製作所

エコアクション 21 環境活動レポート

2020年1月～12月の活動報告

2021年3月30日

(有)田島製作所

有限会社 田島製作所は、山形県を代表する蔵王連峰の麓、上山市新北浦工業団地に位置し、金属プレス、金型設計・製作及び金属プレス部品の加工・製作を行っています。

自然環境に恵まれた当地への本社・工場移転に際しては、「省エネルギー計画書」の審査を経た建造物を構築いたしました。又、設備及び材料においても可能な限り環境負荷の少ないものを使用するように配慮しています。

日増しに地球環境の悪化が伝えられる中、次世代のためにも持続可能な環境作りを今後とも続けていきたいと思っております。

I. 組織の概要

- ①事業所名 : 有限会社 田島製作所
- ②代表者 : 代表取締役 田島 誠一
- ③所在地 : 〒990-3100 山形県上山市新北浦 2-2
- ④TEL : 023-672-1455
- ⑤FAX : 023-672-1450
- ⑥E-mail : tjm@pressya.com
- ⑦事業の概要 : 金属プレス、金型設計・製作及び金属プレス部品の加工・製作
- ⑧敷地面積 : 3,960 m² 延べ床面積 : 2,970 m²
- ⑨従業員数 : 42 人
- ⑩環境管理責任者 : 海谷 和徳

II. 環境方針

環境経営方針

田島製作所は、地球に存在する企業であることを自覚し、省エネ、省資源を意識した生産活動の中で資源の有効活用と環境汚染の予防に取り組むことで高い「環境品質」と「顧客満足の向上」を図ることにより、持続的発展が可能な社会の実現に貢献します。

1. 二酸化炭素排出量、廃棄物排出量及び総排水量の削減を継続的に実施し、汚染の予防に努めます。
2. 環境関連の法規制を遵守し、環境保全に努めます。
3. 環境保全の目的・目標を定め、さらなる向上に努めます。
4. この環境経営方針を全従業員に周知徹底し、環境意識向上に努めながら生産活動を行うことで社会に貢献します。
5. この環境経営方針を広く内外に公開し、取り組み経過等を環境活動レポートで適宜公表します。

2019年4月1日

有限会社 田島製作所

環境管理責任者 田島 誠一

(有)田島製作所

Ⅲ. 環境目標

①中長期目標

活動項目	基準年実績	2018～2023 年度目標
二酸化炭素排出量の削減	262,647Kg-CO2	基準年（2017）比1%維持
総排水量の削減	906m3	基準年（2019）比1%維持
廃棄物排出量の削減	11,562Kg	基準年（2017）比1%維持
化学物質使用量の削減	224Kg	基準年（2017）比1%維持
スクラップ（歩留率）	30.11%	基準年（2017）比1%維持

②単年度（2020 年度）環境目標

活動項目	目標値
二酸化炭素排出量	260,020Kg-CO2（基準年比1%維持）
総排水量	484m3（基準年比1%維持）
廃棄物排出量	11,446Kg（基準年比1%維持）
化学物質使用量	222Kg（基準年比1%維持）
スクラップ（歩留率）	29.80%（基準年比1%維持）

Ⅳ. 環境活動計画

活動項目	責任者	取組内容
電力使用量の削減	田島大輔	・夜間・週末のブレーカー遮断 ・機械エアフィルターの掃除 ・LED へ交換 ・コンプレッサーのフィルター管理
灯油使用量の削減	星 佳月	・ボイラー用灯油使用量調査
車両燃料使用の削減	星 佳月	・エコドライブ教育の実施 ・燃費のチェックと管理
水道使用量の削減	星 佳月	・散水の禁止 ・センサー式自動水洗の流量を絞る
廃棄物排出量の削減	奈良崎幸	・材料搬入用木製パレットの返却再利用 ・加工油の減量化及び再利用 ・脱脂剤の長期利用の検討
化学物質使用量の削減	笹原震哉	・使用量、保管量の記録管理
スクラップ（歩留率） の削減	奈良崎幸	・不良製品の削減 ・端材等の利用を検討する

V. 環境活動計画の取組結果と評価、次年度の取組内容

活動項目	目標	実績	評価
電力使用量の削減 (KW/h)	358,680	332,643	・働き方改革への対応から社員数を増やし、残業時間を減らした成果
灯油使用量の削減 (L)	9,470	9,423	・ボイラーの稼働時間が減った事が大きな要因と思われる。
車両燃料使用の削減 (L)	12,229	9,745	・納品場所の変更から、納品方法を宅配から自社便に切り替えた結果
廃棄物排出量の削減 (Kg)	11,446	8,240	・毎日送られてくる書類やダイレクトメールは、一向に減れない。梱包材の工夫だけでは限界がある
総排水量の削減 (m ³)	484	519	・水漏れが発生していた。気を付けて管理していこうと思う。
化学物質使用量の削減 (Kg)	224	113	・生産量に左右される。科学物質を使用する製品の生産が減った。
スクラップ (歩留率) (%)	29.81	37.21	・客先への不良数は減ったが、社内でのスクラップにしている量は減っていない。
二酸化炭素排出量の削減 (Kg-CO ₂) (電力、灯油、車両燃料の使用合計で換算)	260,020	182,924	・2017 年度版になり取りまとめ表のスケールが変わったようだ。2019 年をベースに、計画していこうと思う。

*購入電力の排出係数は、2020 年度ウエスト電力 0.407 を使用しています。

太陽光発電による売電実績

太陽光発電実績	20 年 01 月	20 年 2 月	20 年 03 月	20 年 04 月	20 年 05 月	20 年 06 月
売電実績 k w h	3,789	5,249	8,417	10,332	10,943	8,584
	20 年 07 月	20 年 08 月	20 年 09 月	20 年 10 月	20 年 11 月	20 年 12 月
売電実績 k w h	8,316	10,093	6,777	5,706	4,250	525
合計					82,981	k w h
合計金額					1,916,855	円

太陽光発電により、CO₂ の削減につながればと思い、導入しましたが、環境負荷の管理表には、2017 年度版のガイドラインでも対象にはなりませんでした。リース代とトントンなのがせめてもの救いです。

◎次年度の取組内容

毎年、生産量と生産額の変化が大きいため、エコアクション活動の成果が見えない。活動内容も前年と同様になってしまう。昨年より指標にした一番大切な CO₂ 排出量を売上で割ってみた数値は下記の通りである。

(有)田島製作所

	売上 (万円)	CO2 排出量	CO2/売上
2017年	476,215	262,647	0.55
2018年	507,417	257,249	0.51
2019年	471,443	188,565	0.40
2020年	529,779	182,924	0.35

環境経営を進めていくうえで、努力した結果が数字だけでなく金額で表せると報われる気がする。燃料費が上がったり、電気料金が上がったりで、環境活動で浮いた金額は、多きいと思われる。浮いた分を社員に還元できる仕組みを作れば、活動に対する意識も変わるのではないだろうか。

◎環境負荷の推移

環境負荷項目	2018年度	2019年度	2020年度
二酸化炭素排出量 (Kg-CO2)	257,249	188,565	182,924
廃棄物排出量 (Kg)	11,220	12,698	8,240
総排水量 (m3)	840	489	519

VI. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

2021年3月31日 海谷環境管理責任者がチェック表に基づき遵守状況をチェックして問題がないことを確認しました。当社は、農村地帯に立地する事業所として今後とも排出水の水管理、浄化対策を徹底して行い、地域に決して迷惑をかけないように努力いたします。よって当社は、環境法規等の違反、訴訟はありません。尚、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

◎当社に該当する主な環境関連法規

廃棄物の処理及び清掃に関する法律	浄化槽法
騒音規制法	振動規制法
化学物質排出把握促進法	消防法

VII. 代表者による全体評価と見直しの結果

見直し会議実施日：2021年1月12日（火）

会議参加者：田島社長、海谷環境管理責任者、事務局田島拓弥 環境リーダー3名

・報告事項

- ①環境目標達成状況 ②環境活動計画の実施運用結果
③環境関連法規等の遵守状況 ④苦情・要望の有無

・社長からの評価コメントと指示事項

- ① これまで使っていた化学物質が RoSH に抵触しないものになるらしい。したがって、確認後、化学物質管理の管理項目を削除する。
② 工場内の LED 化は、すべて完了した。
③ 新たに、自家消費用の太陽光パネル設置を検討している

(有)田島製作所